



▲廃校舎を活用した施設で、バルーン体操を体験する地域住民の皆さん

廃校舎を活用した、地域交流などの拠点施設完成！

～多機能型複合施設「南風ん風」オープン～

福祉サービスの提供をはじめ、生涯学習や地域交流の拠点となる多機能型複合施設「南風ん風」が6月1日、オープンしました。この施設は、旧天附中学校（牛深町）の校舎を利活用するため、国の認定を受けて改修したもので、NPO法人「ひと・学び支援センター熊本」が管理・運営します。5月28日には開所式が行われた後、オープンイベントが実施され、参加した地域住民はスタッフといっしょに介護予防運動やフラダンスなどをして汗を流しました。



▲ゴミステーションで分別した生ゴミを計量

生ゴミのリサイクルに向けて！

～生ゴミの分別収集モデル事業を開始～

市では、家庭から出る生ゴミを分別収集するモデル事業を、6月3日から五和町城河原地区で始めました。生ゴミのリサイクルは、市のバイオマスタウン構想の取り組みの一つで、生ゴミから電気等のエネルギーなどを得て、公共施設などで利活用することにしています。モデル事業では、生ゴミの排出量や異物の混入状況などを調査するため、同地区の244世帯にご協力いただき、分別した生ゴミを8月までの毎週2回、ゴミステーションに持ち寄り計量します。



▲地域医療の課題などについて語る鎌田實・名誉院長

地域医療の現状を考える

～天草の地域医療を考えるシンポジウム～

6月7日、「天草の地域医療を考えるシンポジウム」を天草市民センターで開催しました。シンポジウムでは、鎌田實・諏訪中央病院名誉院長が「命を支える地域医療」と題して、長野県の事例などをもとに基調講演。また、パネルディスカッションも行われ「医師とともに看護師の確保が急務」「天草地域医療センターを中心とした民間医療機関と市立病院のネットワーク構築が必要」との意見が出されるなど、約500人の参加者は熱心に聞き入っていました。



▲機敏な動作で正確な操作を行う選手の皆さん

速く正確に・小型ポンプ操法

～県消防協会天草市支部消防操法大会～

6月8日、本渡運動公園陸上競技場で「第2回熊本県消防協会天草市支部消防操法大会」が行われました。大会では市内10方面隊の消防団員がそれぞれ5人1チーム（補助員を含む）となり、想定された火元へ小型ポンプを可動し放水。その速さと操作の正確さなどを競いました。

▶大会結果（敬称略）＝【団体の部】優勝・牛深方面隊、準優勝・河浦方面隊、3位・栖本方面隊（牛深・河浦は8月24日㊦、阿蘇市で開かれる県大会へ出場）。【個人優秀選手】指揮者・山本嘉文（河浦）、1番員・梅田将臣（栖本）、2番員・松本一繁（河浦）、3番員・岸谷京（牛深）。



▲おばあちゃん、いつまでも元気で過ごしてね

お弁当と手紙のプレゼント！

～ふれあい給食サービス～

6/3
御所浦

6月3日、市社会福祉協議会・御所浦支所による「ふれあい給食サービス」が行われました。これは、75歳以上の1人暮らしの人や80歳以上の夫婦にお弁当を配送するサービスで、年に2回実施されています。当日は対象者約200人に、地元の小学生がお弁当と心を込めて書いた手紙を配達。児童が「いつまでも元気で、長生きしてください」とお弁当と手紙を手渡すと、おじいちゃんやおばあちゃんはとてもうれしそうに受け取っていました。



▲はっぴを身にまとい、気持ちを新たにしている児童

地域の火災予防に取り組みます

～新和小少年消防クラブ入部式～

6/3
新和

6月3日、新和小学校で「少年消防クラブ入部式」が行われ、同校5・6年の児童37人が入部しました。式典では、山下富康・市新和支所長が「地域の防火活動に貢献してください」とあいさつ。児童を代表して6年の竹内翔洋くんが「火災予防について学び、クラブ員として恥じない行動に努めます」と誓いの言葉を述べました。同クラブでは今後、規律訓練や1人暮らしの高齢者への敬愛訪問などを通して、火災予防活動に取り組んでいきます。



▲さつまいもの苗を、1本ずついねいに植え付けました

さつまいもで地域おこし

～さつまいもの苗植え作業～

6/7
有明

須子地区振興会では、遊休農地の利活用と自主財源の確保を目的に、昨年度からさつまいもの栽培に取り組んでいます。6月7日には苗植えの作業が行われ、同地区の子どもからお年寄りまで約40人が参加。10アールほどの畑に約3,000本の苗を1本ずついねいに植え付けました。

なお、収穫したさつまいもは市内での販売や、給食の食材として小学校などに提供する予定。また、さつまいもの揚げまんじゅうなど加工品の開発・販売も計画しています。



▲大物を釣り上げた皆さん

タイ釣りシーズン到来！

～倉岳海開き釣り大会～

6/7
倉岳

6月7日、(社)天草宝島観光協会・倉岳支部主催の「倉岳海開き釣り大会」が開かれ、県内外から14組64人が参加しました。倉岳大えびす像前で、シーズン中の大漁と安全を祈願した後、鹿児島県の獅子島周辺でマダイなどをねらって腕を競いました。当日は絶好の釣り日和に恵まれ、2kgを超えるマダイを釣り上げた参加者も。合計20.1kgを釣り上げた古堀明彦さんチーム（鹿本郡植木町）が見事、大漁賞と大物賞（ココダイ3.8kg）に輝きました。